

# たくましくゆたかな明新っ子のために

## 福井市明新小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	3回
地域及び家庭への学校公開	24回

#### (2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	31人
授業ボランティア（含：低ボラ）	204人
登下校支援ボランティア	1419人
その他（図書館環境整備ボランティア）	204人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「学力の向上と授業改善」

地域人材の活用による授業改善

##### ① 1年 生活科「さつまいも栽培」

地域のさつまいもづくり名人先生を招き、さつまいもの苗の植え方について教えていただいた。名人先生には、畑で船底植えのお手本を示していただきながら、ポイントを話していただいた。子どもたちは全部で200本余りの苗を自分の手で植えることができ、大きないもに育つようにと願った。その後も、毎日のように早朝に水やりをしてくださり、肥料まきや草取りなども、さつまいもの育ち具合を見ながら、適時お世話してくださった。

また、大きく成長してくると、収穫の時期を教えていただき、いもほりの当日には、いもの掘り方を子どもに指導していただいた。いもが土の中から顔を出すたび、子どもたちは歓声をあげたり、大きないもに感動したりしながら収穫を楽しんだ。

##### ② 3年 社会科「昔の暮らし」

子どもたちの祖父母の中から、昔の暮らしについてゲストティーチャーを募集した。11名の方に来ていただき、2クラスずつ合同で「昔の暮らし学習会」を開いた。

持参した道具等を見せていただきながら、使い方や遊び方を説明していただいた。子どもたちからは、着てみたいとか、遊んでみたいという声があがった。

また、公民館にあるふるさと資料室の見学を行い、昔の暮らしや生活用品の使い方について、2人の方にお話と説明をしていただいた。資料室にはたくさんの農器具や生活用品が展示されており、子どもたちは手にとって触ってみたり、細かく観察したりして昔のくらしぶりを想像することができた。



#### 成果と課題

- ・ 教員はその年齢や体験の有無等によって、十分な指導ができないことがある。そこで、十分な知識や経験をもった方に指導をお願いすることによって、子どもたちに高い興味・関心をもたせることができた。また、理解を深めることにもつながった。地域の人材を効果的に活用することは、子どもたちの興味・関心を高める上でも理解を深める上でも、授業改善の一方策となる。
- ・ ゲストティーチャーに指導していただく場合、ともすると話が横道にそれていって時間が足りなくなることがあり、打ち合わせを念入りに行うことが必要となる。

